

事業企画における都道府県協議会 及び市町村等関係機関との連携について

～課題解決に向けて大切にしたこと、工夫したこと～

平成30年6月14日（木）
愛知県清須保健所 総務企画課総務・企画グループ
神谷ともみ

1

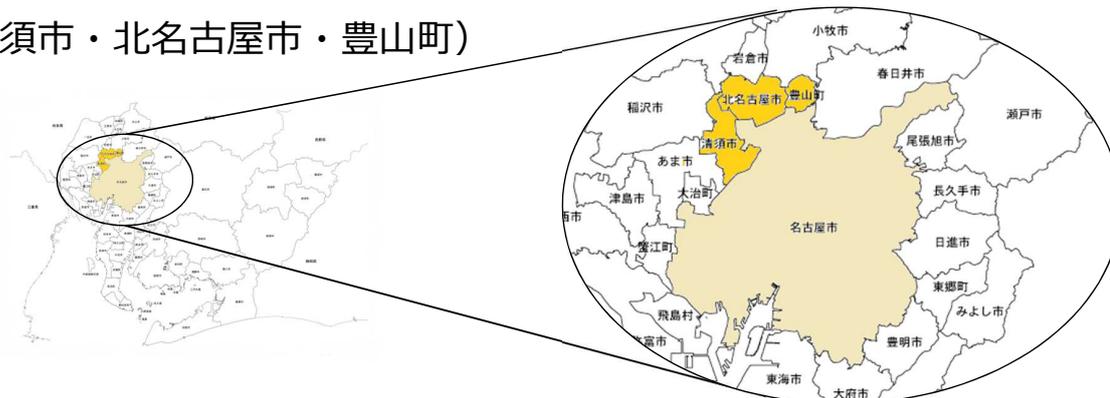
目次

- 地域の現状と課題
- 課題解決に向けて大切にしたこと、工夫したこと
 - ・ 地域課題の共有のために
 - ・ 賛同者や理解者を増やすために
 - ・ 取組を実現させるために
- 実践内容の詳細
- 総合的評価（課題と展望）

2

地域の現状

名古屋・尾張中部医療圏における尾張中部地域 (清須市・北名古屋市・豊山町)



		愛知県	尾張中部地域	清須市	北名古屋市	豊山町
人口(人)		7,526,911	169,961	69,079	85,369	15,513
世帯数(世帯)		3,152,075	69,495	28,364	34,739	6,392
平均世帯人員(人)		2.39	2.45	2.44	2.46	2.43
合計特殊出生率		1.56	1.65	1.63	1.65	1.74
高齢化率(%)		24.6	23.5	23.1	24.1	22.4
平均寿命	男	80.93		80.73	81.24	80.38
	女	86.88		86.94	86.70	86.62

資料：あいちの人口(月報) H29.10.1、厚生労働省人口動態統計

地域の現状

管内事業所数と従業者数

	事業所数 (事業内容等不詳を含む)	従業者数 (性別不詳を含む)	従業者数	
			従業者数 男	従業者数 女
愛知県	310,992	3,804,470	2,216,465	1,570,315
尾張中部地域	6,556	75,221	45,835	28,933
清須市	2,505	28,999	18,490	10,445
北名古屋市	3,138	32,493	18,142	14,046
豊山町	913	13,729	9,203	4,442

資料：平成28年経済センサス活動調査より

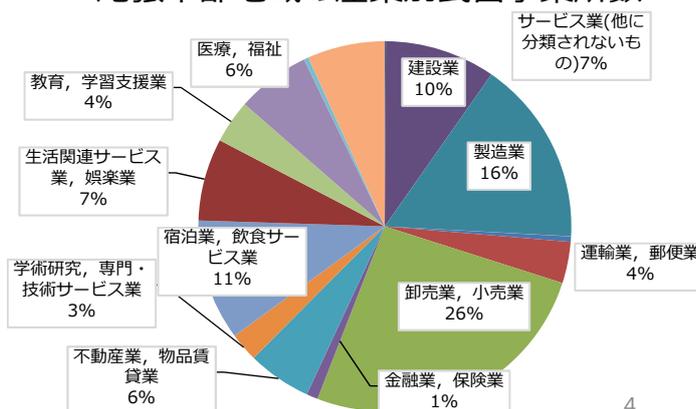
商工会加入事業所数

	加入事業所数	加入割合
清須市商工会	1,450	58%
北名古屋市商工会	1,623	52%
豊山町商工会	579	63%

※上記には大企業も含まれる。



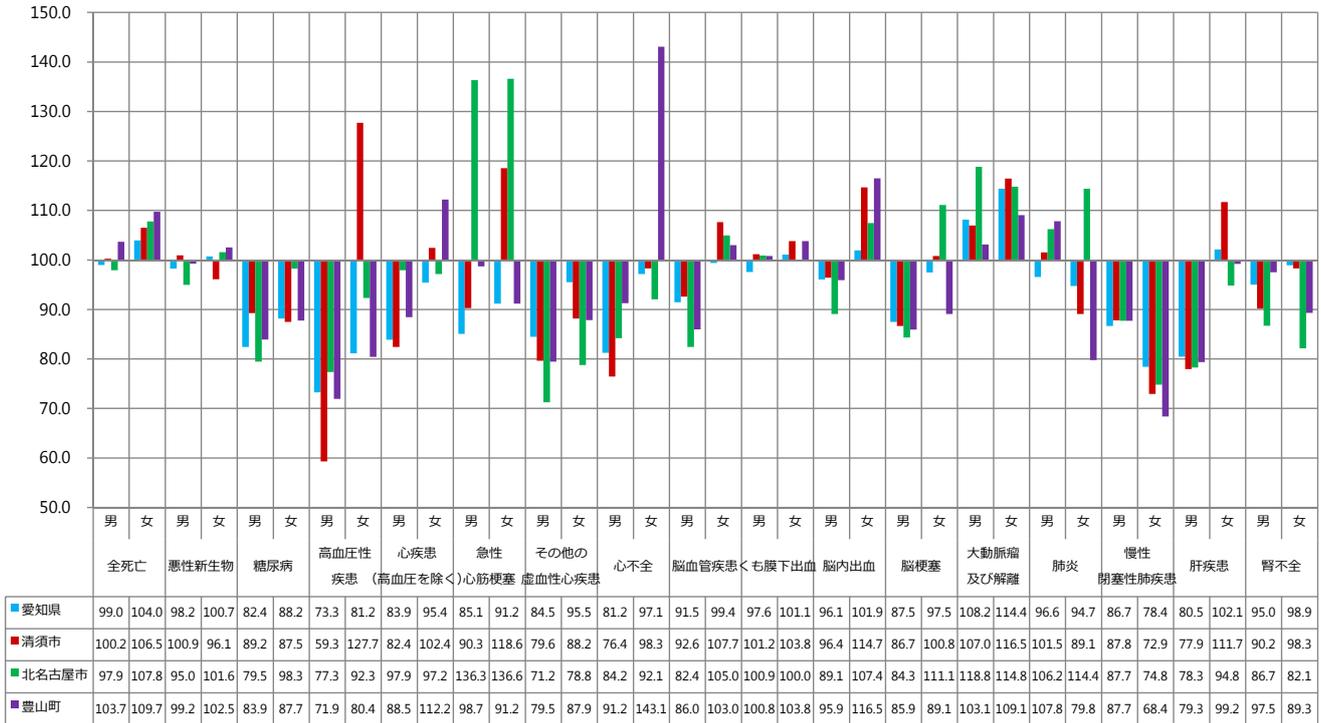
尾張中部地域の産業別民営事業所数



地域の現状

平成24～28年SMR経験的ベイズ推定値 (EBSMR)

資料：愛知県衛生研究所



5

地域の現状

市町村国保加入者の特定健診受診率

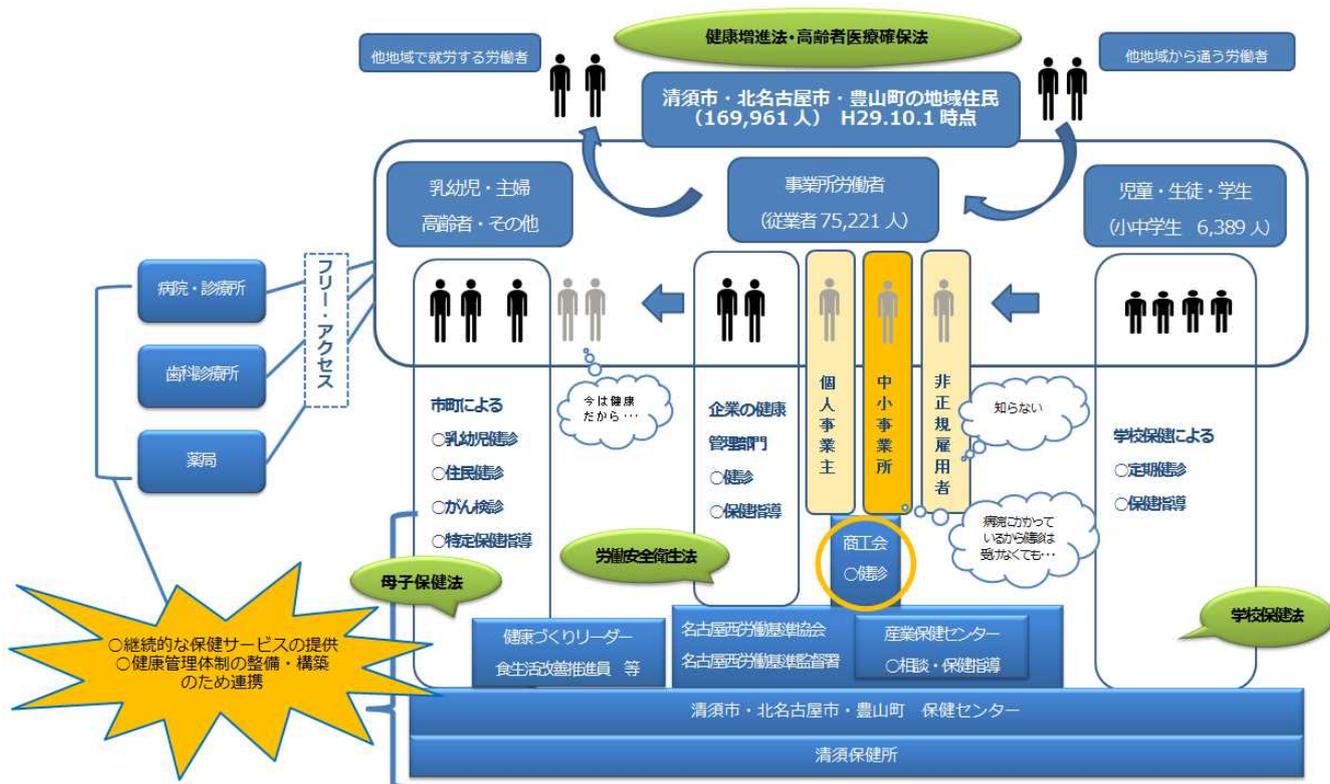
	愛知県	清須市	北名古屋市	豊山町
特定健診受診率	39.6%	45.9%	34.7%	35.2%
54市町村順位	—	23位	50位	49位
対人口比率 (加入率)	22.13%	21.89%	23.51%	25.33%

資料：平成28年度分法定報告、愛知の国保

6

地域の現状

尾張中部地域における地域・職域関係図

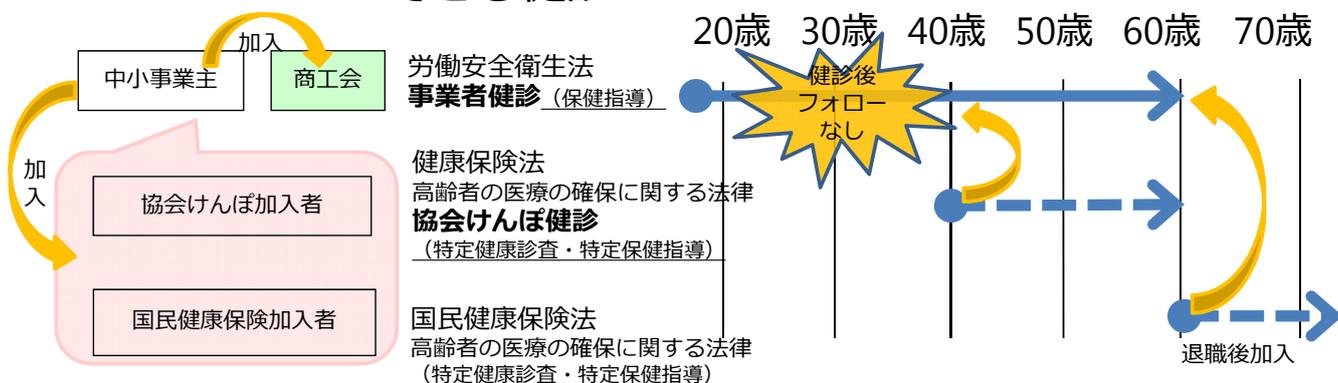


7

健康課題

状況の分析

中小事業所の就労者が生涯に受けることができる健診



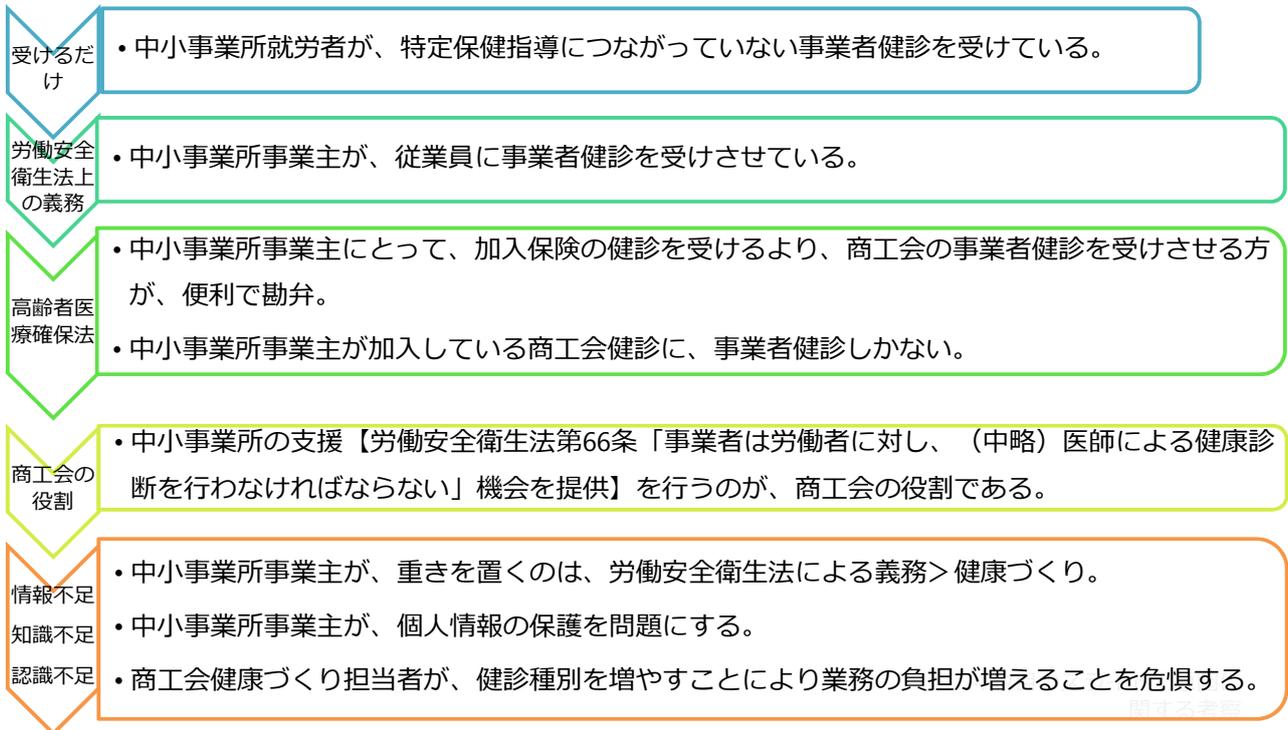
健康課題

中小事業所就労者が主に受けている事業者健診は、保健指導につながっておらず、生活習慣の改善の機会となっていない。

8

健康課題の発生する原因に関する考察

選んだ課題：中小事業所就労者が主に受けている事業者健診は、保健指導につながっておらず、生活習慣の改善の機会となっていない。



解決するための条件

課題

中小事業所就労者が主に受けている事業者健診は、保健指導につながっておらず、生活習慣の改善の機会となっていない。

目的

中小事業所従業員が、一定基準に該当する場合に、健診後に保健指導を受けられることができる。

目標

1. 商工会健診の健診データが、保険者（協会けんぽ）へデータ還元される。
2. 協会けんぽ健診を利用している商工会健診について、昨年度対象者に特定保健指導が実施される。
[【保健指導へ繋がるシステムが充実するまでの対応策として】](#)
3. 市町の商工会健診当日に、個別健康教育が実施される。

解決に向けて大切にしたこと・工夫したこと

- ・ 地域課題の共有のために
- ・ 賛同者や理解者を増やすために
- ・ 取組を実現させるために



11

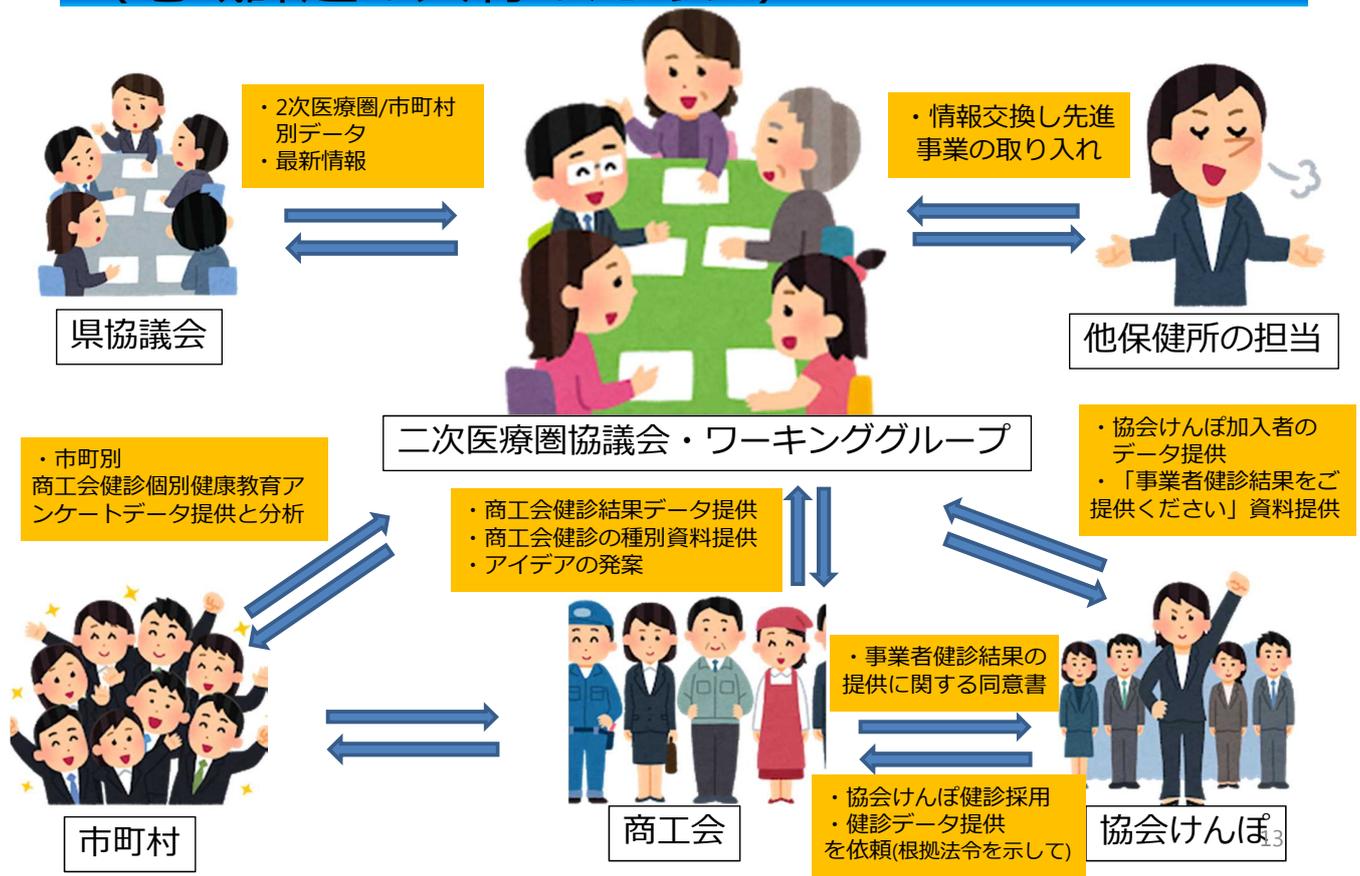
大切にしたこと・工夫したこと 1 (地域課題の共有のために)

- ・ WGメンバーが、協議会WGにデータ提供
- ・ WGメンバーが、協議会WGに資料提供
- ・ WGメンバーが、協議会WGで報告
- ・ 保健所担当者が、都道府県協議会からの県データを分析して、協議会WGに地域独自の課題（改善傾向も示す）を見やすく（グラフ化・図式化）提示
- ・ 保健所担当者が、協議会WGに県データと商工会データを比して提示
- ・ 保健所担当者が、協議会WGに“就労者が生涯に受けることができる健診”について資料（図式化）で提示
- ・ 保健所担当者が、他保健所担当者と情報交換

～自分の所属の問題としての意識（当事者意識）と積極性、主体性が生まれました～

12

大切にしたこと・工夫したこと1 (地域課題の共有のために)



大切にしたこと・工夫したこと1 (地域課題の共有のために)

喫煙者の割合

	愛知県	清須市	北名古屋市	豊山町
男	32.3%	33.2%	33.0%	35.9%
54市町村順位		34位	32位	49位
女	7.3%	8.0%	8.1%	9.6%
54市町村順位		45位	47位	53位

資料：特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価

豊山町商工会員 喫煙状況
(資料：個別健康教育アンケート)

喫煙状況	40歳未満	40歳以上
タバコ吸っている	50.0%	32.1%
以前吸っていたがやめた	11.5%	25.0%
禁煙したい	23.1%	50.0%
禁煙したくない	11.5%	16.7%

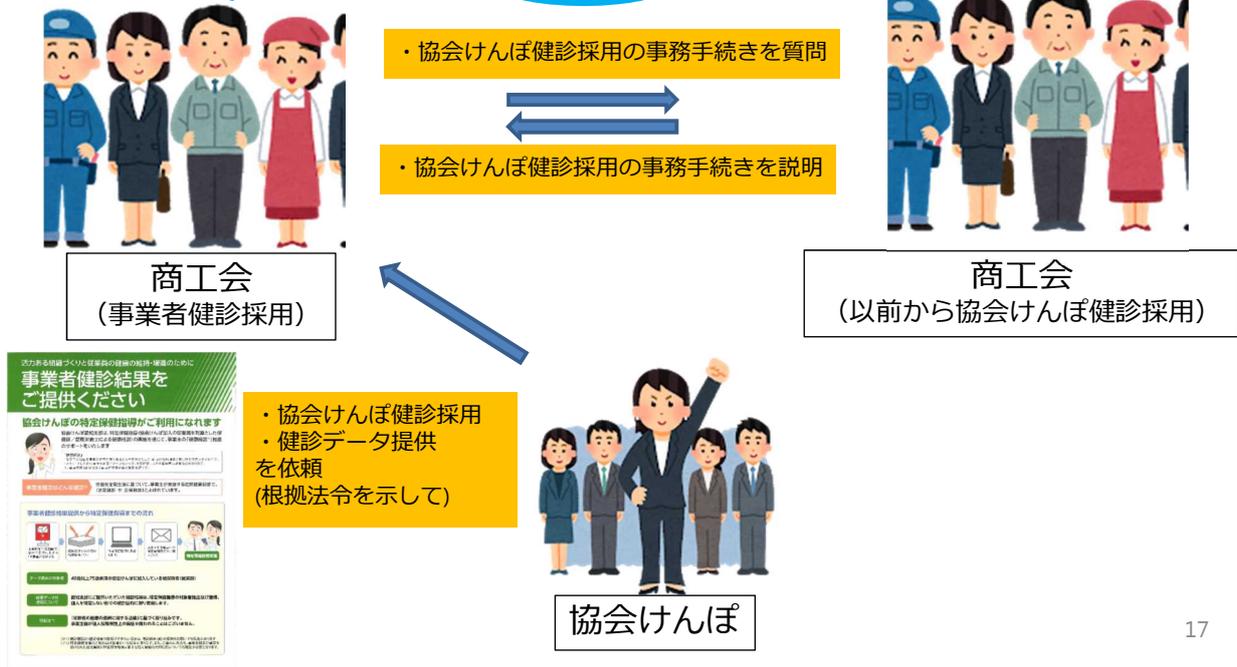
商工会の会員が喫煙率を上げているな

商工会事務局長

大切にしたこと・工夫したこと2 (賛同者や理解者を増やすために)

協会けんぽ健診・事務処理が煩雑にならないか？

事業者健診のデータ還元・・・個人情報保護の問題にならないか？



17

大切にしたこと・工夫したこと3 (取組を実現させるために)

- ・ WGメンバーの役割・強みを把握
- ・ 前もって具体的な目標を設定
- ・ WGメンバーが、現在行っている事業や活動に **1つ加える程度**の「まず、やれること」からスタート
- ・ 連携事業の**キーパーソン** (商工会健診では、もちろん商工会の健康づくり担当者) を想定

アイデアがすごい！
行動力がすごい！
市町と連携が密！
大企業とのコラボ！

～今後も続けられる事業となりました～

18

事業内容の詳細

目標

1. 商工会健診の健診データが、保険者（協会けんぽ）へデータ還元される。

2. 協会けんぽ健診を利用している商工会健診について、昨年度の要指導対象者に特定保健指導が実施される。

【保健指導へ繋がるシステムが充実するまでの対応策として】

3. 3市町の商工会健診当日に、個別健康教育が実施される。



事業詳細

- ① 協会けんぽが、商工会へ②について説明・依頼する。
- ② 商工会が事業主に健診案内を送付する際に、協会けんぽへの健診データ還元・保健指導を勧奨する案内を同封する。
- ③ ②について問い合わせがあった際は、協会けんぽから事業主に説明する。
- ④ 健診データ還元に対して、協会けんぽ保健師から該当者に特定保健指導を勧奨する。

- ① 協会けんぽ健診受診事業所について、商工会から協会けんぽ保健師に事前連絡。
- ② 協会けんぽ保健師は受診する事業所を踏まえて（昨年度の健診結果より、要保健指導の状況を踏まえて）、健診時に保健指導を行う。

- ① 事業者健診今年度、3市町商工会健診にて、市町・協会けんぽ・保健所が協力し、事業者健診当日に分かるBMI・血圧・喫煙等により、個別健康教育を実施する。
- ② 個別健康教育と同時にアンケート実施。19

目標に対する評価指標の決定

	指標	現状値 (H28年度)	目標値 (H29年度末)	評価手段 (データソース)
ストラクチャー	会議の内容、予算	作業部会2回 協議会1回	維持	事業報告書
プロセス	関係者の理解度、感想、反応		維持 改善	会議での発言 企画内容 取り組み状況
	保健所と関係者が一緒に活動した回数、人数、内容	禁煙イベント1日13人 保健指導9日	維持	事業報告書
アウトカム	協議会WGへ、商工会事業者健診の健診データを提供する商工会の増加	A商工会:データ提供あり B商工会:データ提供あり C商工会:データ提供なし	3市町商工会	商工会健診データ
	保険者へ、健診データを還元する商工会の増加	A商工会:協会けんぽ健診利用 B商工会:データ還元なし C商工会:データ還元なし	2市町商工会	協会けんぽ健診採用 健診データ還元状況
	前年度の特定保健指導対象者に、協会けんぽ保健師が保健指導を行った人数の増加	0人	増加	協会けんぽ
	商工会事業者健診当日における個別健康教育実施率の維持	721/824人=87.5%	維持	健康教育事前アンケート
	商工会加入者のメタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合の減少	B商工会:26.1%	減少	商工会健診データ
	地域内メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合の減少	28.0% (H25)	減少	特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価 (県提供)

実践後の評価

【判定：◎達成、○維持、△悪化】

	指標	ベースライン値 (H28年度)	直近値 (H29年度末)	目標値 (H29年度末)	判定
プロセス	協議会WGへ、商工会事業者健診の健診データを提供する商工会の増加	A商工会:データ提供あり B商工会:データ提供あり C商工会:データ提供なし	A商工会:データ提供あり B商工会:データ提供あり C商工会:データ提供あり	3市町 商工会	◎
アウトカム	保険者へ、健診データを還元する商工会の増加	A商工会:協会けんぽ健診利用 B商工会:データ還元なし C商工会:データ還元なし	A商工会:協会けんぽ健診利用 B商工会:協会けんぽ健診H30採用予定 C商工会:事業主同意による健診データ還元2件	2市町 商工会 (H30は3市町)	◎
	前年度の特定期間保健指導対象者に、協会けんぽ保健師が保健指導を行った人数の増加	0人	8人	増加	◎
	商工会事業者健診当日における個別健康教育実施率の維持	721/824人=87.5%	519/740人=70.1%	維持	△
	商工会加入者のメタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合の減少	B商工会:26.1%	A商工会:15.4% B商工会:22.3% C商工会:27.2%	減少	○

総合的評価（課題と展望）

事実	推察されること 懸念されること	次の行動計画
<p>管内の商工会に加入している</p> <p>『中小事業所従業員が、一定基準に該当する場合に、健診後に保健指導を受けることができる』システムづくりはできた。</p>	<p>今後さらに、できたシステムを充実させる必要がある。</p> <p>また、平成29年度、特に取り組んだのは、商工会加入事業所の就労者で、かつ、健診を受診した者の事後フォローについてである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工会加入事業所の健診未受診者 商工会未加入の個人事業主と非正規雇用者の健診と事後フォローが必要ではないか。 	<p>今後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工会加入事業所の健診未受診者 商工会未加入の個人事業主と非正規雇用者の健診と事後フォローについて <ol style="list-style-type: none"> 地域課題を共有して 賛同者や理解者を増やして 連携事業を実現します。

関係機関担当者の声



- 商工会「健康課題が明確となった、データを参考にして事業者従業員の健康管理に役立てたい。」
- 商工会「問題は健診だけやっても病気は治らないということで、保険者、事業主、自治体、特に保健センターが中心となって、保健指導になる取り組みが大事。」
- 商工会「さらにもう一步踏み込んで健康に対して気を遣っていただくようになればと我々も考えている。」

- 保健センター「こういう機会（商工会健診の個別健康教育）を持てたことでバランス良く知識が提供できた、地道にこの活動を続けられたらと思う。」
- 健康課「事業を通して普段関わりの少ない働く世代のことが分かった。地域と職域が連携を図れたと実感している。」



23

まとめ

課題解決に向けて

- 地域課題を共有しよう
- 賛同者や理解者を増やそう
- 取組を実現させよう

と工夫したことで、地域と職域の関係者それぞれに当事者意識、積極性、主体性が生まれ、連携事業の大きな推進力になりました。

これからも連携事業を進めていきます。



24